



〇書くスキルについて

1週間の中で30分間「書くスキル」の時間があります。その授業の中で行っていることを紹介します。

書くスキルでは今、はじめ・中・終わりの3つに分けて文章を書くことに取り組んでいます。例えば、

はじめ	わたしは友だちと公園に行きました。
中	そこでおにごっこをしたり、サッカーをしたりしてあそびました。
終わり	とてもつかれたけれど楽しかったので、また行きたいです。

上記のような文章を視写し、よい文の構成を学ぶ・・・5分～10分
はじめ・中・終わりを意識してから自分で文章を書く・・・20分

今の段階では、はじめ・中・終わりのそれぞれの内容についてはまだ重視してはいません。3つの構成に分けて文章を書けるようになることに重きを置いて取り組んでいるからです。（もちろんよく書けたらそれは素晴らしいことです）

これができるようになると、自分の考えを発表するときも、3つの構成で考えを頭の中でまとめられるようになるので、まずは、はじめ・中・終わりの構成に慣れることを目指します。

ぜひ、ご家庭で日記を書くときなど、はじめ・中・終わりを意識しながら書いてみてください。とても読みやすく、伝わりやすい文章になっていきます。

また、「中」のしっかりした日記を書いてほしい場合は、書く際はいろいろな質問をしてあげるとよいです。低学年の子どもは対話をすると、思考がどんどん具体化されるからです。

- ・何があった？ ・何色だった？ ・どんなもようだった？
- ・どれくらいだった？ ・どう思った？ ・他の物でたとえると？
- ・なんでそう思ったの？

色々な質問の答えに対して、「**とってもいいね、それを日記に書いてごらん**」という活動を続けていくと、子どもたちの文章はどんどん生き生きとしていきます。**(作文はほめられて嬉しい気持ちがすごくすごく大切です)**

2年生で学ぶ作文のポイントは次の通りです。

- ・様子を表す言葉を入れる（擬音語、擬態語）
- ・理由を表す言葉を入れる（なぜかというと、理由は〇つあります）
- ・たとえる言葉を入れる（まるで～のよう）
- ・したこと、見たこと+思ったこと、感じたことで書く

前ページの子どもへの質問も、これらのポイントを引き出せるようなものになっています。これを意識した作文の例が以下のものです。

はじめ	わたしは友だちと公園に行きました。
中	そこで、わたしがすきなおにごっこであそびました。なぜおにごっこがすきなのかというと、にげているときにつかまりそうになると、心ぞうがドキドキするからです。また、おにのときはあいてがどこににげるか考えながら追いかけるのが、まるでゲームみたいで楽しいからです。今日は2人ではさみうちをためしてみたら、たくさんタッチすることができて、うれしかったです。
終わり	とてもつかれたけど楽しかったので、また行きたいです。

2年生のうちにこれくらい書けるようになったら大したものです。

しかし、2年生の作文ののびしろはすさまじいので、これ以上書ける子どもが現われてきます。書くスキルの授業中に、笑顔で、「先生、プリント足りなくなったからもう1枚ください」という子がどんどん登場します。今は、なかなか書けずに不安に思っている場合でも、学校の授業や家庭での日記を続けることで、どんどん書く楽しさを感じていきます。

これからも書く楽しさを大切にしながら「書くスキル」の授業に取り組んでいきますので、子どもたちの成長を楽しみにしててください。そして、ぜひご家庭での日記のご協力をよろしくお願いします。